

刊 週



行發日曜日週毎
價定二冊金 五錢郵費別
和廣告料一冊十錢
印刷所、大和田印刷所

刷印般一
らな文注
大和田
印刷所へ
お客様本位
迅速・鮮明

町村合併と市制檢討

効果を何に依つて發見するか 負擔は必ず増大し絶對に減少しない 平、平窪は密接不可分の合成体か？

平町は大馬力で平窪村の合併によつて市制を施行したへとしてゐる。是れは町當局と現町會議員等の意見らしい。町民の多數は尙早論である。町自体の躍進、進展に従つての市制は大いによい。又隣村の密接不可分の合成体による市制は大歓迎すべきである。單に町よりは市がよかんべい、町會議員より市會議員の方が肩書がよい位の處では考へさせられる。

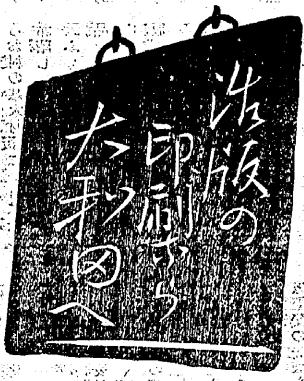
其一

吾國の先發地は、事ある毎に市町の合併を勉め、その行政能力を擴大して、市町の施設の擴充を圖らしむと共に、他町の行政區域としての地位にも背せしめんとしたのである。市町村合併の齎す能力の強化と負擔の輕減とは屢々誇張的な言辭を以て放逐せられた。郡縣行政の統一と社會の發達が之に懸念した。然るに一方に於て、市町村の合併を遂げ、其外溢を擴張して能力を増進せしむると共に、他町、その内部の獨立を止揚せしめて内容を充實せしめ、以て更に發達の行政區域を作出せしめんとしたのである。此の政策は、漸進的に實施された。又所謂「デフレイン」時代には、非發達主義と共に、町村合併の總好の資金をもつた。かくて町村合併は四十八年の今日、一萬三千餘の町村は二、四三に減つたのである。平窪四十の減少である昭和五年以降の合併政策を示せば其の如くである。(内閣調査局「町村合併」)

昭和五年 四 昭和六年 六二
七 一六 一八 九〇
九 三三 一〇 二〇
斯くの如く、四十八年進行せられつた合併は、然らば如何なる結果があり、その効果はどうであらうか。以下三回に於て、

其の第一歩を印したのである。

大勉強の和田印刷所



非常時に鑑み然と
時流の尖端に立つ

勇躍奮起して改善に改善を加へ文化の先驅者たるを自ら認識して全部をポイント活字に改め、ルビ活字を使用して特異性を發揮して居る弊店を御引立下さい。

委託工業たる印刷業は、製造單一、又は販賣單一の事業と異り對需要家の關係に於て仕事は最も入念と技術とを要します。

平町中町二十三番地は多少不便の地ではあります。が可愛がつて「電話五五五番」なり「御ハカキ」一本なり頂戴すれば直ちに店員が参上如何様の御相談にも應じます、多少にかはらず何卒御下命下さい。

平町中町二十三番地 電話五五五番